

## 令和3年度第1回千葉県慢性腎臓病（CKD）重症化予防対策部会 議事録

1 日 時 令和3年7月15日（木）14時から16時まで

2 場 所 各所属（Zoomを利用してウェブ上で開催）

3 出席者（敬称略）

日比野久美子、櫻井健一（代理）、眞鍋知史、長谷川純子、宮坂樹、椿政伸、  
今澤俊之、浅沼克彦、寺脇博之 （10委員中9委員出席）

4 議 題

- （1）CKD対策協力医の養成・登録状況と今後の方向性について
- （2）CKDシール活用の進捗と今後の活用促進について
- （3）CKD対策に係る評価について
- （4）その他

5 会議結果要旨

○部会長

昨年度は、CKD抽出基準の設定やCKD対策協力医の養成・登録の開始、CKDシールの運用開始など、CKD対策の取組がスタートした。スピード感を持って進めてきたため、抜けている部分も多いと思われる。足りない部分について検討するとともに、CKD対策の取組が一時的なものとならないよう、今後の方向性を検討していきたい。

まず、昨年度の3月4日に開催された、第2回千葉県糖尿病性腎症重症化予防対策推進検討会の結果について、事務局から説明をお願いする。

【事務局より、資料1に基づき説明】

## 議 題 （１）ＣＫＤ対策協力医の養成・登録状況と今後の方向性について

### ○部会長

続いて、議題（１）「ＣＫＤ対策協力医の養成・登録状況と今後の方向性について」に移る。

協力医の登録作業は千葉県医師会で実施いただいているところであるが、現時点での登録人数や課題とじていらっしゃること等について、医師会から御報告いただきたい。

### ○委員

参考資料をご覧いただきたい。腎臓専門医とＣＫＤ対策協力医の分布状況を地図に落としこんだものであり、千葉や東葛などでは多い一方で、両方ともいない地域もある。現時点で、千葉県では専門医１８０名、ＣＫＤ対策協力医１８６名が登録されている。登録にあたり、トラブル等は特にないと聞いている。

### ○部会長

当方では、医師会圏域ごとに分けて集計をしてみたところ、また少し見え方が違っていた。

腎臓専門医の先生方からご意見等あるか。

### ○委員

周知も重要であるが、ＣＫＤ対策協力医のモチベーションを維持するための取組も必要である。講演会や勉強会を開催することも一つの方法ではないか。

### ○委員

講演会などで、紹介事例など実例を示せるとよいと思う。

### ○委員

ＣＫＤ対策協力医になったからには、協力医に何を求めるのかを明確にし、役割を与えられるよう、実行に移していくことが必要である。

○部会長

市町村等保険者において、対象者を抽出し、CKD対策協力医等へ受診勧奨していただくこととしているが、市町村等保険者からCKD対策協力医への受診勧奨の状況や、連携状況はいかがか。

○委員

松戸市では、まずは糖尿病性腎症重症化予防をということで取り組んでいる。紹介様式は市独自のものを使っているが、CKD対策については、県の物を活用することも検討している。

○部会長

本部会の役割の一つは、取り組めていない市町村の底上げであり、最終的には全ての市町村で取り組めるようにしていきたい。いつ頃から対象者の抽出や受診勧奨が開始できそうか。

○委員

抽出基準の取り決め等は本市のネットワーク会議に諮って行うこととなるため、活用するとしても秋くらいからになる。

○部会長

県では、市町村の取組状況をどのように捉えているか。

○事務局

調査はまだ実施できていないが、周知した際の反応としては、これから取り組もうと考えているため活用したいという声や、マンパワーの問題等で現時点ではCKD対策に取り組むことは難しいといった声などがあり、市町村によって温度差はあるように感じている。

○部会長

市町村等への調査は、11月頃に実施予定であったか。

○事務局

そうである。

○部会長

市町村がCKD抽出基準に沿って対象者を抽出する際にはKDBが活用されるが、国保連合会では、KDBの活用に関する市町村からの問い合わせの状況や、活用支援の取組状況などはいかがか。

○委員

昨年度は全市町村へ巡回訪問を実施した。例年、市町村から数件相談があるが、今年度は今のところまだない。現在、KDB外付けシステムのマニュアルの修正を行っているところである。

○委員

話が戻るが、参考資料の地図で空白になっている地域のうち、具体的にどの地域での登録を働きかけてほしいなどの要望があれば、重点的に働きかけることが可能と思うがいかがか。

○委員

医師会圏域ごとの集計を照らし合わせてみた上で考えたい。医師会事務局で集計することも可能かと思われる。

○部会長

医師会へ医師会圏域ごとの集計結果を提供させていただく。

市町村等では、糖尿病性腎症とCKDの対象者が被った場合にどちらを優先するかという点が分かりにくいかもしれない。プログラムにおいて糖尿病性腎症を優先することとしているので、それを繰り返し周知していく必要がある。

○委員

糖尿病性腎症とCKDを分けて考えることが難しいとの話を聞くことがある。確かに将来的には、医学的な観点からも同一のスクリーニング基準の方がよいと思う。

## 議 題 （２）ＣＫＤシール活用の進捗と今後の活用促進について

### ○部会長

続いて、議題（２）「ＣＫＤシール活用の進捗と今後の活用促進について」に移る。

千葉県薬剤師会におけるＣＫＤシールの活用・進捗状況について、眞鍋委員から御報告をお願いしたい。

### ○委員

薬剤師会では、今澤先生、浅沼先生の御協力のもと、研修会を２回実施し、参加者へＣＫＤシール及びマニュアルを配布した。計１８５名が参加しており、地域分布についてはまだ調査できていない。運営委員会において、８月頃に研修会出席者へアンケート調査を実施する方向で検討している。また、県薬剤師会だけでなく、地域薬剤師会においても研修会を開催する予定である。ＣＫＤシールについては、これから本格的に貼付が始まるというところである。

参考として、研究結果を資料に載せている。糖尿病のデータになるが、薬局における糖尿病患者のeGFRの把握割合は９．５％となっている。複数医療機関持参患者のeGFRの把握割合は千葉県２．３３％、全国４．７０％であり、東で低く、西で高い傾向にある。データは患者へのインタビューにより把握したもので、処方箋により把握したものは２～３％である。疑義照会件数は、eGFRを把握していた方が倍近く多かった。

薬局に患者が電卓を持ってきて、eGFRの計算方法を聞かれたことがあった。患者の関心も少しずつ高まっているのではないか。

### ○部会長

実際にＣＫＤシールを貼っていただいている、糖尿病対策推進会議や腎臓専門医の先生方からご意見等があればお願いしたい。

### ○委員

ＣＫＤシールの貼付は委員の施設でパイロット的に行っている。シールの有効性は認識しているため、積極的に活用されると思う。

○委員

実は当院では、まだ貼付を開始していない。貼付を開始しようというところで、薬剤部からストップがかかった。委員会等を通して慎重に進めているところであるが、一昨日許可が下りた。8月18日に市原エリアの薬剤師の勉強会で説明する予定であり、9月中には貼付が開始できそうである。一部からは、患者にレッテルを貼ることになるという否定的な意見も出ていたが、結果的に過量投与を防ぎ患者さんのためになるということを説明した。理解を得られたうえで始めることができるため、慎重に進めてよかったようにも思う。どの部門にかかっている患者であっても、退院時に必ずチェックし、該当があればシールを貼る予定である。

○委員

AKI（急性腎不全）の方にも貼られてしまうのか。

○委員

重要な点だと思うので、検討していきたい。

○委員

千葉大では、医局での貼付に加え、外勤で別の病院においても対象者には貼付をしている。

○委員

実はまだCKD対策協力医に登録していないが、腎機能の低下した患者さんにCKDシールの話をしたところ興味を持ったようで喜ばれた。協力医以外もシールについて説明できるよう、ポスターなどを作成してはいかがか。

○部会長

非常に重要なことだと思う。眼科や歯科の先生方にも知っていただけるよう周知していくことも必要と思われる。

○委員

県民への周知啓発も重要である。ポスターなどを医師会予算で作成いただくことは

可能か。

○委員

担当理事が別になるので確認が必要である。

○委員

日本腎臓財団でポスターを作成しており、それとタイアップしてはどうか。独自のポスターと日本腎臓財団のポスターを並べて貼るのもよい。既存の物を活用することもできると思われる。

○部会長

県としてはどう考えるか。

○事務局

今年度予算は確保していないため、すぐにポスター作成に取り掛かるのは難しい。作成する場合には、委員の皆様の意見のもと作成していきたい。

○部会長

続いて、CKDシールの活用促進に向けた今後の方向性について、事務局から説明をお願いします。

**【事務局より、資料3に基づき説明】**

○部会長

本来は、CKD対策協力医に対しても希望枚数を調査して配付することが理想ではあるが、事務量を考えると一律で配布した方がよいと思う。シールは何枚ずつ配布する予定か。

○事務局

確定はしていないが、各100枚程度と考えている。

○委員

追加希望先を県ホームページに掲載するとのことだが、医師会ホームページにも掲載した方がよいのではないか。

○委員

それは特に問題ない。

○部会長

シールを配布する際に、年1回貼付枚数を調査することについてお知らせした方がよい。

### 議 題 (3) CKD対策に係る評価について

○部会長

続いて、議題(3)「CKD対策に係る評価について」に移る。

今年の3月に、千葉県糖尿病性腎症重症化予防プログラムが改定され、CKD対策に関する評価項目が追加された。これらの項目について評価を行っていくにあたり、具体的なデータの取り方などを検討していく必要がある。

まず、各評価項目について、事務局から説明をお願いしたい。

#### 【事務局より、資料4に基づき説明】

○委員

これだけ調査できればよいと思う。9項目目で、腎臓専門医からCKD対策協力医への逆紹介件数を腎臓専門医に対して調査することとなっているが、専門医側では誰が協力医かわからないのではないか。協力医リストと照らし合わせるのは作業量が多くなり難しいと思う。

○部会長

CKD対策協力医からの紹介に対して逆紹介をすることになるため、把握できるのではないか。



○委員

協力医の紹介に対しての逆紹介という意味か。協力医から紹介のあったもの以外の逆紹介という場合もあるのではないか。

○事務局

腎臓専門医からCKD対策協力医への逆紹介件数についても、CKD対策協力医に対して調査することとし、県からCKD対策協力医へメールで調査する際に併せて聞くこととしてはいかがか。

○委員

それで問題ない。

○部会長

課題として考えているのが、腎臓専門医の中でもこの対策に協力的な医師とそうでない医師がいることである。CKD対策協力医から腎臓専門医へ基準に則って紹介しても、これくらいでなぜ紹介するのかということになっては、この対策は根底から崩れてしまう。腎臓専門医へこの対策に協力いただけるかどうかの調査を行い、協力いただける方のみをCKD対策協力医のようにリスト化し、県のホームページへ掲載してはどうかと考えている。腎臓専門医のリスト化については、7～8月中には取り組みたい。

○委員

千葉県の一部地域で、糖尿病患者の腎機能が低下したため専門医に紹介したところ、この程度で紹介されても困るという反応だったという話を聞いたことがある。地域の腎臓専門医が少なく負担が大きいことが関連しているのではないかと考えられる。

○部会長

CKD対策協力医については、登録の段階でCKD対策に協力することに同意いただいている。腎臓専門医についてもそのようなことが起こらないように、意向確認した上でリスト化していきたい。

## 議 題 （４） その他

### ○部会長

最後に、議題（４）「その他」として、千葉県ホームページ上に新規開設した糖尿病性腎症・CKD重症化予防対策のページの活用についてと、千葉県糖尿病性腎症重症化予防対策推進検討会設置要綱の改正について御協議いただきたい。

まず、1点目の千葉県ホームページの活用について、事務局から説明をお願いします。

### 【事務局より、資料5に基づき説明】

### ○部会長

ホームページの活用については、皆様から様々な意見があるかと思うので、お願いしたい。

### ○委員

このページが作成されたことは大変よかったと思う。

内容をアピールできるような30秒～1分間程度の動画を作成し掲載するとよいのではないかと思う。

### ○部会長

Q&Aコーナーを作るのもよいのではないか。質問を受け付けて、その都度回答は難しいと思われるが、定期的に回答をアップする。その他、市民啓発、連携用資材、学習用資料等のコンテンツの他、問い合わせができるような質問コーナーもあるとよいかもしれない。

### ○委員

医師会のホームページにも掲載されていると思うが、県のホームページとのリンクはなくてよいか。同じような対策を別々に実施していると思われる可能性があるのではないか。

○事務局

CKD対策協力医の部分については、医師会ホームページへのリンクを貼っている。

○委員

もう少し一般県民向けの情報が入ってもよいと思う。取組の全体像が見えないので、図などを作成して掲載できるとよい。

○事務局

委員の皆様にご相談させていただきながら、検討していきたい。

○部会長

続いて、2点目の千葉県糖尿病性腎症重症化予防対策推進検討会設置要綱の改正について、事務局から説明をお願いします。

**【事務局より、資料6-1、資料6-2に基づき説明】**

○部会長

その他に何か意見はあるか。

医師向けの資料として、CKD診療ガイドライン等があるが、協力医の先生方に全て読んでいただくことは難しいため、協力医向けの診療ミニマムを作成してもよいのではと考えている。

また、CKD対策協力医から腎臓専門医へ紹介する際の紹介状の様式の作成も必要と考えている。他県では、作成しているところも多いようである。県と医師会のホームページに掲載できるとよい。

○委員

もっと先の話になるかと思うが、地域連携パスの作成についても考えていく必要があるかもしれない。CKD対策の話をする時に、地域連携パスはあるかという話になることがある。

○部会長

パスは、なかなか成功している事例が少なく難しいかもしれないが、今後必要に応じて検討していくこととしたい。

本日も多くの御意見をいただき活発な意見交換ができた。引き続き、皆様の御協力をいただきながら、この取組を更に発展させていきたいので、よろしくお願ひしたい。